

NEWS 4 経済産業省「こどもデー」に参加!

夏休み恒例の「経済産業省こどもデー」が実施され、今年も日本銅センターは日本伸銅協会、日本鋳業協会と共同で、2023年8月3日に参加した。日本銅センターでは「銅ってすごい!」と題して、実験プログラムと銅の工芸品の展示を行った。実験プログラムでは、銅及び銅合金の性質を他の素材と比較した観察と実験、「銅はどうやって作られるの?」と題した銅の製造とリサイクルを学ぶコーナー、氷を銅のスプーンで切る熱伝導性の実験などを行った。銅の工芸品の展示は「銅で作った生き物達」と題して、銅製の折り鶴や昆虫の展示を行った。子どもたちは自ら実験・観察を行い、銅鉱石など実物に触れ、銅のすごさを体感できるイベントとなった。実験参加人数は昨年の数倍となり、実験には長い行列ができるほどであった。

なお、「経済産業省こどもデー オンライン」も同時開催され、日本銅センターウェブサイト内のキッズサイトのリンクを貼って参加した。



Topics トピックス

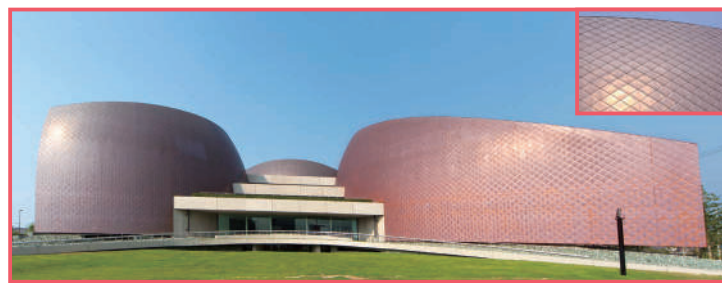
7年という時がもたらした
格調と落ち着き

銅板葺き「あかがねミュージアム」

2016年、愛媛県新居浜市にオープンした「あかがねミュージアム」(本誌180号、今号4ページ参照)。建築分野で当時トピックとなったこの建物も創建7年を迎えた。

完成間もない当時は、優雅に、ゆるやかにカーブを描く建物の屋根・外壁は、あかがね色に輝き、まぶしさに目を細めるほどであった。微妙に形状の異なる菱形の銅板をパズルのように組み合わせて作り出した曲面は、いまでも変わらず美しく、威容を誇る。いつの間にか黒さを増した外壁の色合いは、落ち着き、まわりの自然に溶け込んでいる。屋根など建物上部は緑青色へ変化している。

銅は、人のように時とともに変容し、相応の格調さえ感じさせる。それが、今の「あかがねミュージアム」である。



竣工当時の「あかがねミュージアム」。屋根・壁面が青空を背にキラキラと輝いている。



7年を経た現在の姿。時間とともに自然と色あいを変え、落ち着いた雰囲気。

編集後記

本号では、日本鋳業協会のSDGs、歴史ある「銅の町にある製錬所」と国宝級の「盾形銅鏡発見」、日本銅センター賞受賞者のご紹介を行いました。

別子銅山の歴史を継ぐ東予工場が現在も「継続的に」行っている環境活動をご紹介しました。「盾形銅鏡発見」では発見の

状況や当時の鑄造技術など現時点の観察状況をご紹介しました。日本銅センター賞受賞の皆さんをご訪問しました。それぞれ個性がありますが、銅への熱い思いは同じで、大変刺激を受けました。皆様のますますのご活躍をお祈り申し上げます。

編集デスク 小澤 隆(日本銅センター)

情報発信委員会

〈委員長〉高梨友宏(三菱マテリアル株)
〈委員〉鉱山/和田久行(パンパシフィック・カッパー株)、
吉本俊(日本鋳業協会)
伸銅/宇佐見隆行(古河電気工業株)、
原田宗和(株神戸製鋼所)、
根本優一(株)日本伸銅協会
電線/斎藤春彦(株)フジクラ、
前田かおり(株)日本電線工業会
〈(株)日本銅センター〉桑山広司、中山宏明、和田正彦、
宮本和法、岩谷恵美子

NEWS 1 定時総会および日本銅センター賞表彰式を開催

日本銅センターは、去る6月7日、ホテル椿山荘東京(東京都文京区)において開催された定時総会および理事会において、下記の通り役員を選出した。

新任 会長 野崎 明

- ・日本鋳業協会 会長
- ・住友金属鉱山株式会社 代表取締役社長

新任 副会長 宮崎 庄司

- ・一般社団法人日本伸銅協会 会長
- ・株式会社神戸製鋼所 執行役員

留任 副会長 伊藤 雅彦

- ・一般社団法人日本電線工業会 会長
- ・株式会社フジクラ 取締役会長

新任 専務理事 桑山 広司

- ・一般社団法人日本伸銅協会 専務理事



あいさつする野崎 明新会長

また、同日同会場において第50回日本銅センター賞表彰式を開催した。受賞者は次の通り。なお、50回を記念してこれまで受賞された161件、206企業/団体/個人の方々をリストアップした記念誌が配布された。

株式会社 伸好舎 殿

銅合金を使用した各種歯車製品を1948年から製造・販売し、さらにこれらを組み込んだマイクロ減速機の設計・製造を行い、銅需要の促進に貢献

株式会社 生方製作所 殿

銅芯材の複合線を使用したエアコンやEV/PHEV用のモータープロテクターで世界トップシェアを有し、銅の用途開発や需要促進に貢献

広島市立 広島工業高等学校 殿

2005年より「銅板折り鶴」の作成を授業にとり入れ、さらに「銅板折り鶴」を活用した平和貢献活動を活発に行い、銅のイメージアップに貢献。



受賞者のみなさま



NEWS 2 「第10回関西メタルジャパン(高機能金属展)」に出展

日本銅センターは、日本伸銅協会と共同で2023年5月17日~19日、インテックス大阪で開催された「第10回関西メタルジャパン」に出展した。

2つのテーマで訴求。ひとつは「銅の超抗菌、抗ウイルス性能」で、評価試験結果のパネルを中心に、「CU STAR 認証商品」を展示した。もうひとつは「銅のリサイクル」。銅資源を有効に活用するための「資源循環システム」の現状と日本銅センター独自で調査を行った「銅のフロー図」を中心とした展示を行った。



NEWS 3 〈第55回管工機材・設備総合展〉に出展

日本銅センターは、2023年7月25日~27日東京ビックサイトで開催された「第55回管工機材・設備総合展」に出展した。

今回、同展のコンセプトは「未来へつなげよう自然と技術を結ぶ設備展」と銘打たれ、日本銅センターでは銅管や冷媒用被覆銅管・銅管継手を中心にパネルと製品展示を行った。

猛暑の時期にもかかわらず、多くの来場者で賑わった。

